

# 就労移行支援とは

就労移行支援事業とは、「一般企業への就職を目指す、病気や障害のある方」向けに、障害者総合支援法に基づいて行われる福祉サービスです。

実際のサービスは、国の基準を満たした様々な「就労移行支援事業所」が行います。

就労移行支援事業所では、体調管理の方法、職場でのコミュニケーションの基礎スキル、就職に必要な専門スキルなどを学ぶことができます。

さらには、実際の就職活動でのアドバイス、就職後の職場定着支援も含む、総合的な就労支援を受けることが可能です。

# 利用条件

◆手帳は必須ではないが、医師の診断書が必要。

（受給者証の申請のため）

◆週3～利用できる方。

◆将来的に一般就労をしたい方。

◆就労後の支援が必要と考えている方。

◆就職において一人じゃ不安な方。

◆18～65歳までの方。

◆基本的には学校に在学中でない方。

# 就労移行の流れ

半年は所属はないがいつでも相談可能な状態！！

就労移行支援利用（最長2年）

定着支援（最長3年）

見学・  
体験

基礎訓練  
（週3日  
～）

グループ実  
習

職場体験実習

雇用前実習

就職

働き続ける  
ための支援  
【定着支援  
最長3年】

本人に合わせてステップアップ

# 訓練室



# 場所

(交通手段の利便性・オフィスを意識した建物、個人スペースの環境設定)





作業系・  
一人のスペース

PC・事務系・学習



# 労働に関する基本的知識として

- タイムカード、シフト表、服務届の提出
- 挨拶
- 時間の管理
- 遅刻、早退、欠勤時の電話連絡
- メモ取り練習



# 訓練内容

## ■作業系訓練

ピッキング、印刷物封入、プラグタック組立、計量作業など

## ■事務系訓練

作業日報、物品請求、OAワーク、事務補助など

## ■ビジネスマナー、コミュニケーション

メモとり、電話応対、グループワーク、報告・連絡・相談など

## ■発達障がいに関する勉強会、家族支援

## ■体力づくり、余暇活動

スポーツ活動、ウォーキング、ソフトバレークラブ、レクリエーション  
(土曜)

## ■グループ実習、職場体験実習





# 模擬訓練 (ピッキング)

薬瓶や文具のピッキングを行います。正確性やスピードなど様々な発見が出来ます。

## 注文書

下記のとおりご注文申し上げます

番号	会社名	分類ID	品番	量	備考	備
1	フシナウ	21710	TAK147	3.0mg		
2	キヨクワ	21741	NM-038	16mg		
3	エスエス	63361	DV-4574	2.5mg		
4	サンキョウ	69996	SC-50010	2.5mg		
5	タイチ	62321	M-34073	12mg		
6	タイキョウ	32291	NIK-121	0.30mg		
7						



# 事務訓練（模擬作業）

（障害者職業総合センターの能力開発キットを使用）

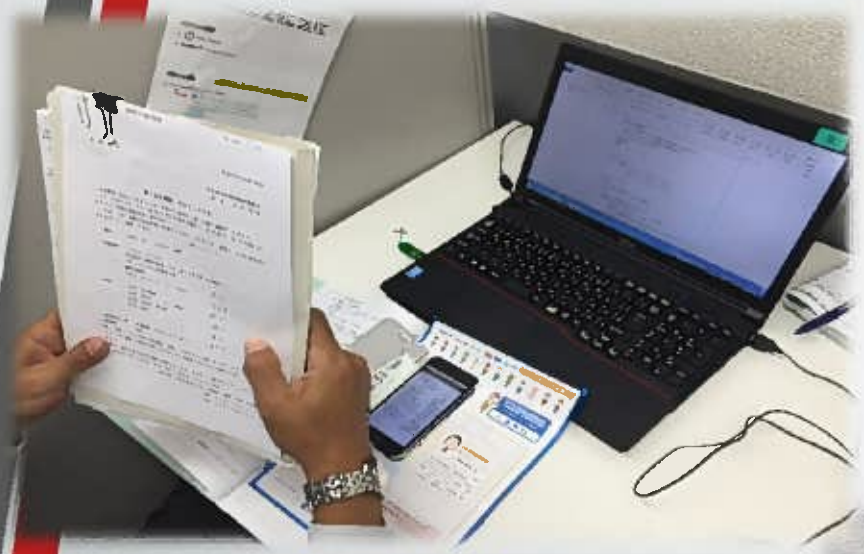


カタログで物品注文

日報集計



# パソコン講座及び訓練



◎基本操作

◎タイピング、数値入力等

◎Office  
(Word,Excel,Power point)



# グループワーク、就労教室

- **目的**

- ・ 知識の習得
- ・ 自分の意見を人前で発表する
- ・ 他人には他人の考え/意見があることを知る



- **最近行ったテーマ**

休憩時間の過ごし方、人との丁度良い距離、自己紹介、電話対応、  
実習情報共有会、ソーシャルスキルズトレーニング、SNSの危険性  
オープン就労とクローズ就労のメリットデメリット などなど♪

\* 外部講師(企業人事担当者、発達障害者支援センター、ハローワークなど)

# ワークネットを現在利用している方はどんな方？

- ◆学力に問題ないがコミュニケーションなどに苦手さを感じている方
- ◆大人になって初めて発達障がいと診断された方
- ◆学校や会社で、人との関係で嫌な思いをした経験のある方  
⇒ほとんどの方が二次障害を抱えている状態
- ◆ひきこもり状態から社会への移行意欲が出始めた方
- ◆高機能の方が多い（行動障害の方はいない）
- ◆高次脳機能障害と診断された方 などなど

年齢も18歳～56歳と幅広いです。  
就職先でも幅の広い方と接する練習になります★

# 大学（高校）における障がい学生の配慮事例を通して

Aさん（25才）県内工業系大学を卒業

中学・高校時にうつ病を発症。大学在学中より自閉傾向が強く、大学担当教授から卒業後の進路では一般就労は困難であろうとの評価があり→卒業時に評価に対する支援なし→卒業→ひきこもり状態が3年→ある縁でワークネット北九州の在宅就労を知る→病院を転院し自閉症スペクトラム障害の診断を受ける。→情報がなければひきこもり状態が続いていたかも？

Bさん（23才）県内工業系大学を今年3月卒業

18才の時発達障がい・強迫性障がいの診断を受ける。大学4年次より大学就職課の支援を受け就職活動を開始する。20社ほど応募するが就職には至らず。大学より特例子会社に就労を前提の実習を実施するが、就労レベルではないとの評価があり、卒業時に北九州市のしごとサポートセンターに繋がる。基礎的なコミュニケーション能力等の訓練が必要であろうとのことでワークネット北九州に繋がる。

# 就労移行支援機関を利用するメリット

## 就活・就労の支援

体験的な実習  
を通しての  
アセスメント

企業実習  
を通しての  
ジョブマッチング

多様な企業や雇用先と  
直接的な関係を保って  
就職につなげることは  
大学では難しい！

## 職業生活維持のための支援

就労後の  
横のつながり  
(就職者の会)

就労後の  
フォロー体制

雇用後の  
継続的な支援も  
大学では難しい！

大学

連携

就労移行支援事業所

情緒の  
安定

信頼  
関係

自己理解

就活

就労

職業生活  
維持

支援システム(チームで支援)

情報  
提供

修学支援(修学スキル)

就労移行支援  
のスタート!

就労支援(就労スキル)



## 本学で行っている支援システム

- ① 学生支援センター 居場所としての役割
- ② ケース会議や本人・保護者との面談
- ③ 発達障害学生対象の個別支援授業
- ④ 障害者就労に関する情報提供

# 支援システム① 学生支援センター

発達障害学生

スタッフのいる  
自習空間  
安心できる居場所

ホッと  
できる

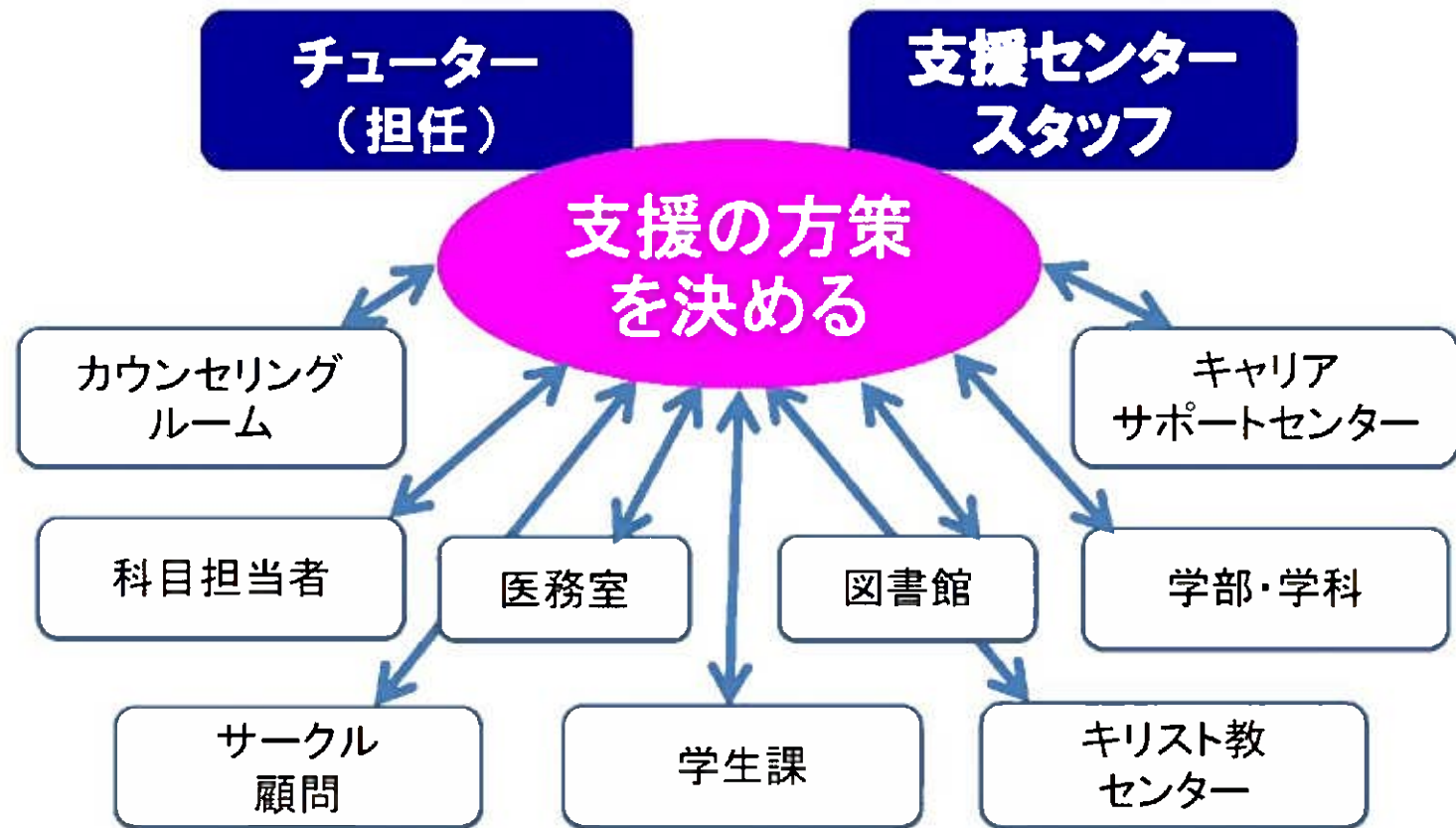
教職員

すぐに相談できる  
チームで支援

一人で  
抱え込まない

支援センター  
スタッフ

## 支援システム② ケース会議



学内関係部署と連携

ご清聴ありがとうございました。  
～就労支援は人生支援～

